

議会

なかたね

だより

158号 令和3年2月10日発行

令和2年第4回定例会 令和2年第3回臨時会

令和2年度補正予算・条例 ②～③

一般質問（3人） ④～⑦

令和2年度決算認定・質疑 ⑧～⑨

臨時会・条例・視察調査 ⑩

その他・一部事務組合 ⑪

議会の動き・編集後記 ⑫



コロナ禍の中
3学期元気にスタート

星原小学校児童

令和2年 第4回定例会 12月9日、18日

12月定例会は、12月9日招集され、12月18日までの10日間の会期で開かれました。初日の一般質問では、3人の議員が登壇し、さつまいも基腐病支援、さとうきび増反対策、コロナウイルス対策、避難所の確保状況、ゴミ袋の改善等について町に考えをただしました。

また、国保税条例改正、契約及び令和2年度補正予算などを審議し、原案どおり可決しました。

選挙管理委員及び補充員の選挙については、指名推薦が行われ決定しました。

さつまいも生産農家緊急支援 「町単独」4,456万円



▲基腐病

本年度、本町全域に被害を及ぼした「さつまいも基腐病」により、農家の収益が激減したため、生産農家に対し10aあたり1万円を支援するものです。（上限10万円）

科植物全般ですが、栽培作物での被害は甘藷のみです。この病気は発病したツルや種芋を植えることで広まります。害虫がつけた傷などで菌の侵入が助長されます。病原菌は食物残渣上で越冬し、翌年の伝染源となります。菌は土壌中では長く生きられません。

基腐（もとぐされ）病とは

線状菌（カビ）の一種

で宿性植物はヒルガオ

防災に備え 備蓄倉庫購入契約

異常気象により甚大な災害に備えるため、

契約金額

1127万600円

災害用品を購入し備蓄しています。その、保管を目的とする、防災

契約相手

備蓄倉庫の購入のため 鹿児島森田ポンプ株式会社

決しました。



▲備蓄倉庫 (4m×2.4m)



▲設置予定場所

令和2年度補正予算

[別表] 令和2年度会計別予算額

会計名(補正号数)		補正額	補正後の予算額
一般会計	(第9号)	4,923万円	86億1,389万円
	(第10号)	6,788万円	86億8,177万円
特別会計	国民健康保険会計(第3号)	1億1,435万円	13億5,707万円
	介護保険事業会計(第3号)	△373万円	12億5,686万円
	後期高齢者医療会計(第3号)	14万円	1億5,861万円
水道事業会計(収益的支出)(第2号)		302万円	3億2,184万円

歳出

「総務費」ふるさと応援基金への予算積立金の追加と地域間路線バス運行補助の減額。

「民生費」前年度国県事業の精算金の計上と温泉保養センター追加工事請負費の計上。

「衛生費」公立種子島病院組合及び種子島産婦人科医院組合負担金の増額。

「農林水産業費」さつまいも基腐病に対する緊急支援の計上と優良雌牛導入事業の希望者増による増額。

「教育費」学校 ICT 関連機器(タブレット端末等)の導入経費の追加。会計毎の補正額と予算の総額は、別表のとおりです。

◆中種子町国民健康保険条例の一部改正
地方税法施行令の一部を改正する政令が公布されることによる条例改正で、国民健康保険税における低所得者世帯の保険税負担軽減のために軽減判定基準額を、地方税法上の個人所得課税基礎控除額に相当分に合わせるよう、現行の33万円を43万円に見直すため、条例の一部を改正するものです。

条例

補正予算の主なもの

その他 主なもの

◆衛生費(保健衛生総務費)

公立種子島病院組合負担金
1,043万円

種子島産婦人科医院組合負担金
1,006万円

◆農林水産業費(畜産業費)

優良雌牛導入事業
1,350万円

◆農林水産業費(甘味資源振興費)

ポストコロナ農業生産体制革新プログラム、産地生産基盤パワーアップ事業
234万円



新型コロナウイルス感染症対策
PCR検査体制整備協力負担金
330万円



ふるさと応援寄附金返礼品経費
1,444万円



学校ICT関連機器
2,319万円



空気清浄機購入
558万円

一般質問

町政のことが聞きたい！



下田 敬三 議員

- ・基腐病で甘藷作はどうか
- ・種苗法改正の影響は
- ・適応指導教室の進捗は



橋口 渉 議員

- ・年末年始のコロナ感染対策は
- ・避難所の対応は万全か



戸田 和代 議員

- ・ゴミ袋の苦情に対する対応は
- ・ゴミステーションをボックス型に

一般質問とは

一般質問とは、議員が町政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信をただし、あるいは報告、説明を求め、又は疑問をただすことです。

なお、議員1人につき60分の時間制限を設けています。



下田 敬三 議員

副町長 国の支援事業は、①植え付けに係る支

基腐病発生で甘藷作はどうなるのか

町長 国・県・町単独で支援を行う



田淵川 寿広 町長

下田 甘藷の基腐病が西之表市を中心に種子島で多く発生しているが、中種子町の被害状況を求める。

町長 中種子町については、被害程度の概略で、微から甚大までが61%、被害なしが39%となっています。澱粉用甘藷は、単収55・4袋の実績となりましたが、基腐病だけでなく、気象条件も一因としての減収と

考えられます。

次期作へ向けた対策は

下田 次期作へ向けた対応と支援事業についての説明を求める。

町長 10月に各関係機関、県議会、農水省とで現地調査を行い、意見交換後、対策プロジェクトチームを編成して生産振興に取り組んでいます。

援（種芋・苗の消毒等）

②被害の大きいほ場への支援（土壌消毒等）③さつまいも生産を継続する農家への支援（被害率3割以上の圃場2万円・3割未満圃場1万円）の支給

農林水産課長 国の支援策に伴う生産者から申請受付を行い、国へ応募しております。国の審査を通り決定されてからの支援事業です。

さとうきびの増反はできるのか

下田 6月議会で新規作付け農家を含めた、増反について質問したが、その後の1市2町の対応について説明を求める。

町長 西之表市、南種子町ともに、国の緊急支援事業を受け、関係機関と連携しながら増反に努めています。

中種子町は、夏植えと秋植え83haの実績です。

春植えについては基腐病の連作障害対策として、甘藷との輪作体系を推進し面積確保に努めます。

下田 品目別経営安定対策の要件の一部見直しの要望を、国にできないか。

町長 実情は理解しますが、法令の問題、時期的な問題、流れの問題の

中で現状では、無理だと思えます。

種苗法改正で種子島の作物への影響は

下田 種苗法改正で自家増殖が制限される作物が発生するが種子島の作物への影響は。

副町長 登録された品種を自家増殖するには許諾が必要で、さらに許



▲基腐病の畑

諸料も支払いますが、心配される金額にはなりません。事務手続きも団体、農協等で処理することになります。

適応指導教室の進捗状況は

教育長 不登校児童生徒が増加傾向にあることから、国の事業も受け社会福祉センターに開設しています。

生徒それぞれの出席状況は異なりますが、学校への復帰を目指し頑張っております。

適応指導教室とは

市町村の教育委員会が、長期欠席をしている不登校の小学生を対象に、学籍のある学校とは別に、市町村の公的な施設のどこかに部屋を用意し、そこで学習の援助をしながら本籍校に復帰できることを目標に運営している教室のことである。

年末年始のコロナ感染対策は

町長 水際対策の徹底を図る



橋口 渉 議員

は 港・空港での感染対策

橋口 島内外での動きが多くなる年末年始、サーモグラフィでの対応方法。

町長 鹿児島港では37度5分以上の方に対し、乗船のお断りを行っているとあります。

種子島空港では、来島された方にサーモグラフィカメラにより検温を行い37度5分以上の方に対し、宿泊場所や滞在期間を調査票に記入し保健師が追跡調査



▲空港の検温所

を行う体制をとっております。

鹿児島空港でもサーモグラフィに関してチェックをして、係員が対応しているところで

休暇中の保健所・医療機関の対応は

橋口 年末年始の休暇中、保健所また医療機関の対応は可能か。

町長 新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行に備えて、受診相談体制の変更があ

ります。

発熱患者などの診療または検査を行う医療機関を、診療検査医療機関と指定し、地域におけるかかりつけ医などの身近な医療機関が発熱患者などの診療検査を行う体制となっております。

年末年始にかかりつけ医が休診の場合には、受診相談センターである西之表保健所へ連絡していただき、受診の調整後、病院を紹介することとなっております。

また、休日当番医と連携を取りながら調整を行うことになっております。

西之表保健所は年末年始も24時間体制で対応を行います。

避難所の対応は万全か？

橋口 超特大の台風10号の接近により指定避難所への避難者が275名であった。星原校区での避難者が68名で町内でも一番多かった。コロナ感染対策の中での避難、現在の避難場所での対応できるのか、予備的な避難場所は考えていないか。災害は台風だけではない。

町長 コロナ禍における超大型台風の接近というこれまでにない状況下での対応となりま

したが、避難者には検温・消毒・体調チェックリストによる健康状態の申告・間隔を保ち感染対策をしました。

星原地区においては、地域の方々や消防団員の皆さんが中心となつて感染症対策や高齢者などに配慮した自主的な避難所を実践していただきました。

大規模災害時においては、各地域の公民館・町内のホテル等を考えています。

体育館に車椅子使用のトイレ設置は

橋口 現在の体育館のトイレでは車椅子での



使用は不可能で避難者には不便がある。

町長 長期の避難となると、体育館というより福祉センターであったり、保健センターの対応が障害をお持ちの方が安心して避難できるのではないかと思います。

ペットと一緒に避難場所

橋口 ペットを飼われている方々が、避難するとき避難所の確保があるか。

町長 現在同じ場所での避難はできませんので、今後対応を考えていきます。



戸田 和代 議員

ゴミ袋の苦情に対する対応は

町長 次期製造の袋は高品質なものを

戸田 現在販売している

るゴミ袋は、以前より安くなっているが「外しにくい」「破れやすい」との苦情が多く寄せられている。この現状の認識と対応策について求める。

町長 本町が単独で作

成した袋の代金が高いのでは、という町民の声があがり種子島地区広域事務組合で構成する西之表市と統一したゴミ袋を作成しています。本町からも事業者に対し、西之表市と連携し、

仕様書に基づく品質体制の強化、改善に向けた対策を徹底するように要望をしています。事業者も現状を真摯に受け止め、製造過程の見直し、品質管理を強化し改善を図ることです。

戸田 ゴミ袋に含まれる処理料金はいくらか。

戸田 処理料金は含まれていない。可燃ゴミ袋の大きさが1枚あたり27円、小で1枚あたり16・5円となっている。

福祉環境課長 可燃ゴミ袋の大きさが1枚あたり27円、小で1枚あたり16・5円となっている。

戸田 処理料が含まれるため、1枚あたり50円もするゴミ袋を買っている。契約終了までこの袋を我慢して使わなければならないのか。

町長 町民の皆様が困りになっている状況はよくわかります。本件の契約が令和3年度までとなっています。残っている在庫等については、販売をしないといけません。今後製造過程

程に入るゴミ袋については、品質が今まで以上に必要になります。要望しています。

町長 猫やカラスによりゴミが散乱している

戸田 一部のゴミステーションにおいて、簡易的な措置をしている場所では、猫やカラスのいたずらにより袋が破れ、ゴミが散乱している。それにより収集業者が苦慮している。また、衛生、景観の面からも非常に悪く固定されたボックス型や組み立て式等の対応が必要なのは。

町長 猫やカラスによりゴミが散乱している

戸田 一部のゴミステーションにおいて、簡易的な措置をしている場所では、猫やカラスのいたずらにより袋が破れ、ゴミが散乱している。それにより収集業者が苦慮している。また、衛生、景観の面からも非常に悪く固定されたボックス型や組み立て式等の対応が必要なのは。

町長 猫やカラスによりゴミが散乱している

状況は、私も把握しています。衛生面や景観の面から、各集落や町衛生自治会とも連携しながら、適切なゴミステーションの管理、対策が必要であると考えます。

戸田 自分たちのゴミは自分たちで責任を持つ

対応するという認識を持つ必要がある。そのためにも、町衛生自治会と連携し適切な指導をお願いします。



▲ゴミステーション (ボックス型)



▲ゴミステーション (ネットのみ)

令和元年度会計別決算額

〔別表〕

区分	歳入	歳出	差引	採決の結果
一般会計	67億6,000万円	66億8,845万円	7,155万円	全員賛成
特別会計				
国保会計	12億4,300万円	12億3,358万円	942万円	全員賛成
と畜場会計	390万円	390万円	0万円	全員賛成
介護保険会計	11億5,034万円	11億4,759万円	275万円	全員賛成
後期高齢者医療会計	1億4,037万円	1億3,812万円	225万円	全員賛成
水道事業会計（収益）	2億8,122万円	2億8,549万円	▲426万円	全員賛成
水道事業会計（資本）	9,021万円	1億8,867万円	▲9,846万円	全員賛成

各会計の決算（令和元年度分）審査のため、去る9月24日から29日までの4日間、関係職員の説明を求め、決算特別委員会を開催しました。

委員長から報告がされ、採決の結果、一般会計について認定されました。各会計の決算額は別表のとおりです。

決算特別委員会での質疑意見

問 日高委員 電算係のセキュリティ対策は万全か。
答 ファイヤーウォールの設置、インターネットの閲覧制限によりブロックをかけている。

問 橋口委員 島外の出張徴収で、徴収した公金は現金所持か、振り込みか。
答 金額的には現金で持つて帰ってくる。金融機関に納付書にて振り込むこともあり。2名体制で管理をしている。

で、平成29年度に土地明け渡しを取り壊しとなっているがその後の進捗状況は。
答 昨年度、跡地利用協議会があり、利用する計画もなく、砂もたまっていることから、しばらく様子を見ることに決定している。

問 戸田委員 水道料金の滞納者についての対応は。
答 複数年の滞納者に対しては、停止予告の催告書を送付し、納付相談を行っている。実績として、9月から33件の停水予告を出し10件の停水を実施しました。

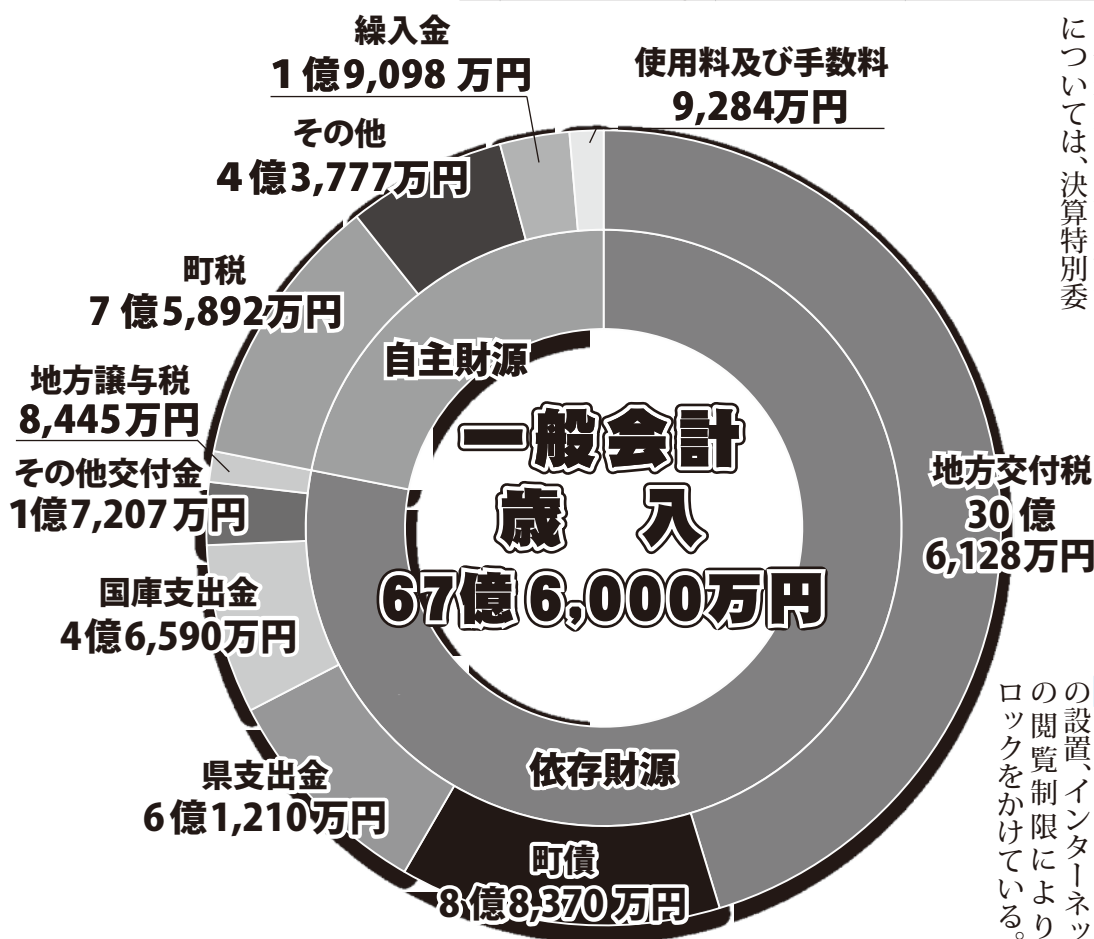
問 蓮子委員長 IT関連のタブレット購入の財源について。
答 補助率は基本的に3分の1となっており、国の臨時交付金がつけられるがGIGAスクールについては地方債とするかは財政係の考えとなる。タブレット1台あたり4万5,900円の定額補助（運搬費も含む）購入額としては10万円以上となる。

問 永濱副委員長 屋久津のヒラメ養殖場跡地

一般会計決算の概要

令和元年度の歳入歳出決算では、差引額7155万円、実質収支5708万円の黒字決算となりました。前年度と比較すると、歳入で3805万円、歳出で1億5698万円、それぞれ増加しています。

支 5,708万円 認定』

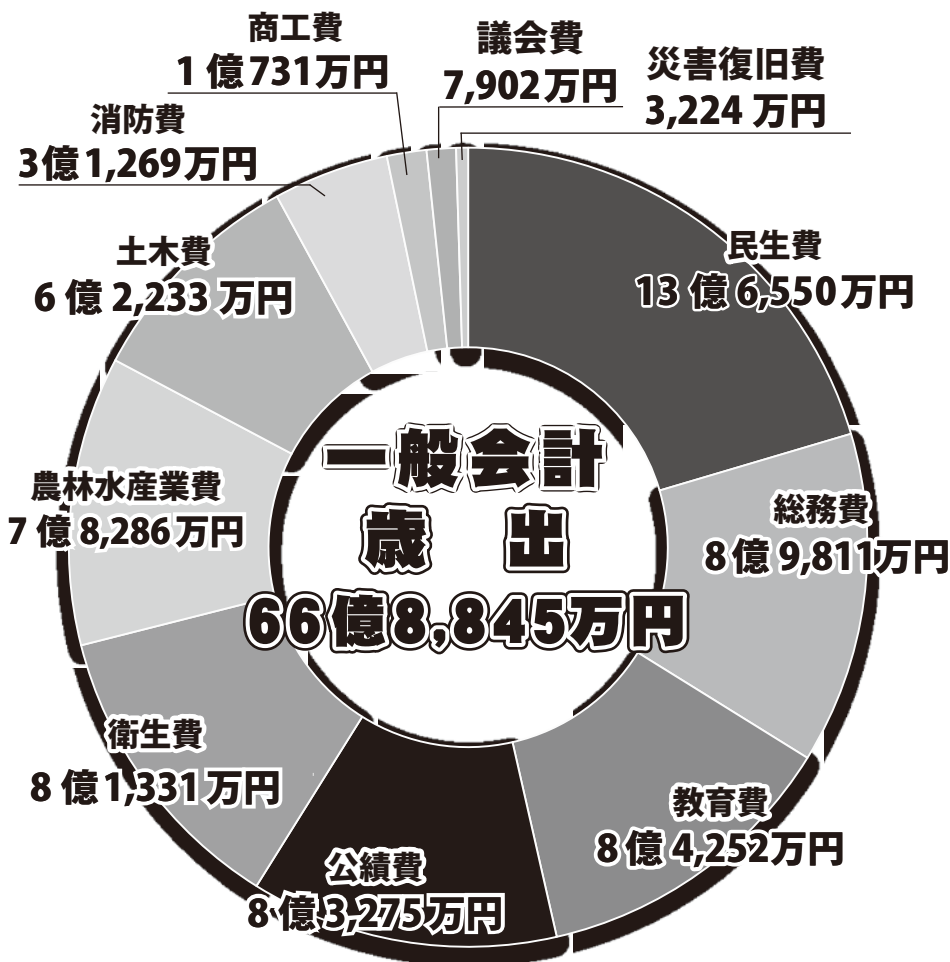


決算特別委員会 令和元年度 実質収 『黒字決算を』

■一般会計歳入
歳入については、前年度決算額と比較し、主要財源である地方交付税が1億4781万円（前年度比5・1%増）、地方特例交付金が1498万円（前年度比721・8%増）増加した一方、国庫支出金は450

3万円（前年度比8・8%減）、寄附金は9657万円（前年度比60・1%減）の減少となりました。また、自主財源である町税が954万円（前年度比1・3%増）の増加となりました。

■一般会計歳出
歳出については、主に、教育費が1億5468万円（前年度比22・5%増）、土木費が1億517万円（前年度比20・3%増）の増加となりました。一方、総務費、商工費、災害復旧費は減少しました。長期借入金



の返済である公債費については、前年度に比べ306万円（前年度比0・4%減）減少しており、歳出総額に占める割合は12・4%（前年12・8%）となりました。

●借金残高
79億5458万円となり、昨年度と比較すると8323万円の増加となりました。

●貯金（基金）残高
32億4645万円、昨年度末と比較して5457万円減少しました。

特別会計

4つの特別会計決算額の差引額は1441万円で、前年度と比較して、歳入で4668万円、歳出で4577万円増加しています。

水道事業会計

収益的収入及び支出の差引で426万円の不足が生じており、損益計算書で1298万円の当年度純損失となっています。

まとめ

地方を取り巻く財政状況は先行きが不透明である。財源の確保はさらに厳しさを増すものと予想される。

このような状況を踏まえ、各事務事業等の抜本的な見直しを継続するとともに、従来にも増した経費削減・合理化を初めとする行政改革の推進に引き続き努めてもらいたい。

税収等の自主財源確保には十分に意を注ぎ、収入未済額の解消及び不納欠損の防止に積極的に取り組み、計画的かつ効率的な行財政運営に、より一層の町民福祉の向上と推進に寄与されるよう要望する。

資本的支出は、女洲地区配水管布設替工事及び耐震化石綿管更新事業工事7件、また、古房浄水場水源電気探査業務委託及び古房浄水場配水池実施設計業務委託を実施しています。収支の不足額9846万円は、過年度及び当年度損益勘定留保資金等から適正に補填されています。

令和2年 第3回臨時会

第3回臨時会は、11月24日招集され、1日間の会期で開かれました。

令和元年度一般会計並びに各特別会計歳入歳出決算を認定しました。(8～9ページ参照)
また、中種子町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例が提出され、原案のとおり可決されました。

条例

職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告に基づき、職員の期末手当率を0.05月分の引き下げ決定するため、条例の一部を改正するものです。

今後の品質向上を期待

「さとうきび操業を視察」

令和2年12月18日定例会終了後、新光糖業への視察を行いました。八木管理部部長より挨拶がなされ、今期は2度の台風被害により収量・品質ともに前年を下回る予想で、島内生産見込み数量は、12万2800トン(うち本町分7万200トン)で前年比94.6%となる見込みとの説明。しかし、葉部の状態も良好であることから今後の品質向上が期待されています。来年4月6日まで96日間の操業を計画しています。

品質向上・台風被害の軽減・バガス量の増加等が見込まれ、農家の生産意欲向上につながるものと期待されています。行政をはじめ関係機関のご指導の下、面積回復を第1目標として取り組んでいるとのことでした。

植付作業の省力化に向けて今回は、ハーベスター採苗によるビレットプランター植付実証



▲ビレットプランター

圃場の視察も行いました。試験の目的として、キビ作農家の高齢化、人手不足が深刻な中で、いかに面積の維持拡大を図るか、まずは、植付作業の省力化と作業スピードを上げることが先決です。また、今後春植えから夏植えに転換を進めて行くなかで、ネットワークとなる夏季苗取り作業の省力化(機械化)及びビレットプランターによる植付後の発芽状況を実証し、多くの関係者に見ていただき面積拡大に弾みを付けたいとのことでした。この植付体系の特徴は、苗が通常より1・5倍要するものの植付までの一連の作業が速く、人員も2名程度で出来るとのこと



▲さとうきび畑



▲展示ほ場場所

とです。
町も今年度ビレットプランターを2台導入し、植付作業の省力化に向けて取り組んで行く計画です。



岩屋 春義氏



松下 久男氏



西田 徹嗣氏



鎌田 多喜男氏

選挙管理委員会 委員・補充員決まる

令和2年12月25日の任期満了に伴い、地方自治法182条及び同法187条の規定により左記のとおり専任されました。

任期は、令和2年12月26日～令和6年12月25日

委員長	松下 久男
職務代理者	岩屋 春義
委員	鎌田 多喜男
委員	西田 徹嗣
補充員	梶原 莊平
補充員	鎌田 哲二
補充員	森山 由紀男
補充員	鮫島 良一

「3ない運動」をごぞんじですか？

年末年始はお年賀など、何かと贈り物やお祝い事をする機会が多いシーズンです。そこで、この機会に皆さまに改めてご理解いただきたいのが、きれいな政治、お金のかからない政治の実現、選挙の公正の確保を目指す「3ない運動」贈らない！求めない！受け取らない！です。

政治家が選挙区内の人にお金や物を贈ることとはもちろん、有権者が政治家に寄附や贈り物を求めることも、公職選挙法により禁止されています。

皆さま一人ひとりが寄附禁止のルールを守って、明るい選挙を実現しましょう。

一部事務組合

◆熊毛地区消防組合議

令和2年第2回定例会(10月6日)

令和元年度の決算については、歳入決算額12億1288万3千円、歳出決算額11億8465万5千円となり、採決の結果、原案通り認定されました。

また、令和2年度一般会計補正予算(第1号)は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3496万6千円を追加し歳入歳出の総額を歳入歳出それぞれ9億6203万8千円するもので原案通り可決されました。

◆種子島産婦人科医院組合議会

令和2年第2回定例会(10月6日)

令和元年度歳入決算額2億2161万8千円、歳出総額2億7160万9千円、採決の結果、原案通り認定されました。

令和2年度一般会計補正予算(第1号)は、収益的支出の補正で、組合事業費用を869万7千円減額し、総額を2億6009万2千円とするもので採決の結果、原案通り認定されました。

◆種子島地区広域事務組合議会

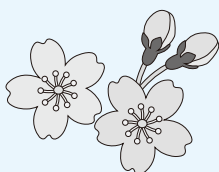
令和2年第2回定例会(10月6日)

令和元年度歳入決算額7億4675万9千円、歳出決算額7億144万7千円、差引額は、3531万2千円、採決の結果、原案通り認定されました。

令和2年度一般会計補正予算(第1号)は、2794万6千円を追加し、総額を7億3287万3千円とするもので原案通り可決されました。



▲種子島産婦人科医院



議会傍聴においでください。

令和3年3月議会は2日に招集される予定です。

町民の皆様に町議会の活動や町政の進め方などをよく知っていただくために、町議会では、できるだけ多くの方が傍聴されることを望んでいます。

町議会の本会議は、いつでも、だれでも傍聴できます。

議会事務局で傍聴券を交付します。議長や係員の指示に従い、静かに傍聴しましょう。開会日前には防災無線でお知らせします。

議会の動き

12月											
7日	さとうきび収穫事業進捗式	9日	12月定例会（18日まで）	15日	例月出納検査	18日	広域事務組合例月出納検査	23日	熊毛地区消防組合例月出納検査	24日	公立種子島病院例月出納検査
1月											
15日	例月出納検査	18日	広報委員会	19日	広域事務組合例月出納検査	22日	財政援助団体監査	25日	公立種子島病院例月出納検査	31日	県地区対抗女子駅伝
2月											
2日	総務文教常任委員会所管事務調査	3日	全員協議会	13日	県下一周駅伝	16日	県町村議会議長会定期総会	24日	議会運営委員会	25日	熊毛地区消防・種子島地区広域事務・産婦人科医院組合議会定例会
26日	中南衛生管理組合議会定例会	26日	公立種子島病院組合議会定例会	お知らせ 議会の映像中継について 中種子町議会では、議会の活性化を図るため、本会議中は、庁舎1階ロビーに設置しているモニタースクリーンで本会議の様子を放映しています。 議場に入れない場合や役場へお越しの際は、是非ご覧ください。 （開会中に限ります）							

編集後記

新型コロナウイルス・鳥インフルエンザ・さつまいも基腐病と、人・家畜・農作物にとつて厳しく不安な年となりました。種子島にも新型コロナウイルス感染者が発生しましたが、犯人捜しみたいなことや、噂、誹謗中傷をせずに、自身を守ることを優先すべきです。

苦しいときは、笑顔を絶やさずに過ごすことだと言われます。マスク越しでも笑顔は感じ取れます。目は口ほどに物を言うといわれます。

広報編集委員会

下田 敬三

委員長 下田 敬三
副委員長 永濱 一則
委員 園中 孝夫
浦邊 和昭
橋口 渉
池山 喜一郎

